

令和3年度事業報告書

法人の名称

特定非営利活動法人楽しいスポーツを支援する会

1、 事業の成果

今年度は、川崎市多摩スポーツセンター水泳教室を4期開催し、春休みと夏休み期間に短期水泳教室を開催できました。ただし、コロナ過の影響により、参加人数制限を設け密集を避けて行われました。又、知的障害者の競泳練習、身体障害者の競泳練習、中高校生の競泳練習、成人水泳教室、マスターズ練習会も開催できました。初めての試みとしてスタート練習会を横浜国際プール(水深 2.5m)で行うことができました。尚、マスターズ大会は6回出場しました。

2、 事業の内容

令和3年度マスターズ

目的 競技会への参加により会員同士の親睦を図る

泳力向上を目指し、より深く水泳について理解する

活動内容 年間数回マスターズの試合に参加

2022年度日本短水路大会(川崎会場)

東京都マスターズ(東京辰巳国際水泳場 50m)

東京都マスターズ(東京辰巳国際水泳場短水路)

深谷ディスタンス大会等

感想 今年度はマスターズ会員の練習会は開けました、マスターズ練習参加者はスタート・ターン練習をはじめフォームチェックができ、楽しく大会に参加しました。今後もNPOとしてマスターズ大会参加者の支援をしていきたいと思えます。

収支 収入：0円(年会費より)

支出：登録料 5,000円

収支：- 5,000円

ホームページ啓蒙活動

目的 会員を中心に情報を提供し、如いては一般の方々がアクアムーブメントに興味を持ち、水中運動や水泳を自身の生活の一部として位置付けていただけるように様々な情報を提供するとともに関係各位の知識経験を多く方々に共有していただく。

活動内容 ホームページをより活用し、会員専用ページにNPO講師や職員、指導員による様々な情報提供。マスターズ競技会報告、障害者の競技会報告など関係者の活動

報告、イベント開催情報などを掲載。

感想 講師や指導員の方々の協力により 1 年間ほぼ毎月掲載内容を変え情報提供できました。外部からの感想や意見は多くを聞くことができませんでしたが、それはこれから徐々に出てくると予想しています。今後はフェイスブックや他の SNS を利用するか検討中です。

収支 収入：0 円(他の事業収入より)
支出：講師料 98,000 円 広告宣伝費 121,000 円 支払手数料 1,760 円
計 220,760 円
収支：- 220,760 円

川崎市多摩スポーツセンター水泳・水中運動教室

期日： 令和 3 年 10 月～令和 4 年 9 月

場所： 川崎市多摩スポーツセンター

対象： 幼児から高齢者

内容： 水泳・水中運動指導

指導員： 専属職員 1 名、アルバイト指導員 11 名

目的： 川崎市多摩スポーツセンター内プールにて、アクアムーブメントの理論と実践体系を活かした水泳・水中運動を継続して行い、川崎市多摩区地域の健康とスポーツの推進に寄与する。

成果： 今年度も、新型コロナの影響で参加人数の制限をして開催しました。

2021 年 10 月から 2022 年 9 月までの参加者数となります。

教室参加人数	R3 年 10 月～12 月	R4 年 1 月～3 月
キッズクラス	41 名	47 名
ジュニアクラス	113 名	109 名
成人クラス	50 名	48 名
シニアクラス	47 名	47 名
アクアビクス	24 名	23 名
	R4 年 4 月～6 月	R4 年 7 月～9 月
キッズクラス	47 名	45 名
ジュニアクラス	120 名	110 名
成人クラス	50 名	60 名
シニアクラス	52 名	56 名
アクアビクス	21 名	25 名
短期教室	春休み短期教室	夏休み短期教室
キッズクラス	9 名	19 名
ジュニアクラス	31 名	63 名

シニア&成人クラス 6名

11名

○川崎市多摩スポーツセンター キッズ・ジュニアクラス

今年度もコロナの影響でプール内人数制限の為、少ない人数での練習となり、参加者は十分な練習が出来ました。更に泳力向上につながるように、今後も指導員一人一人が。自らの技術を磨き指導方法の上達と開発に努めていく所存です。

○川崎市多摩スポーツセンター シニア・成人・アクアビクス

今年度もコロナの影響でプール内人数制限の為、少ない人数での練習となり、参加者は十分な練習が出来ました。今後はさらに、指導力の向上を図り、安心して楽しく水中運動が出来る状況を確立していきたいと思えます。

○川崎市多摩スポーツセンター 障害者のアクアムーブメント

期日： 令和4年6月～令和4年9月 第3日曜日月1回開催

時間： 午前9時30分～10時30分

対象： 中学生以上の知的障害者

内容： 水泳・水中運動指導

参加人数： 6月13名 7月11名 8月12名 9月15名

指導員： 専属職員1名、アルバイト指導員2名

目的： 川崎市多摩スポーツセンター内プールにて、中学生以上の知的障害者に対してアクアムーブメントの理論と実践体系を活かした水泳・水中運動を行い、将来に向かって心身の健康増進をはかる。

収支：	収入	15,820,200円
	支出	
	職員給与	2,280,000円
	アルバイト給与	4,758,850円
	講師料	10,500円
	交通費	625,960円
	交際費	49,254円
	会議費	24,253円
	諸会費	9,000円
	保険料	65,981円
	研修費	4,994円
	支払手数料	28,473円
	講習会費	78,099円
	法定福利費	126,093円
	福利厚生	294,400円
	計	8,355,857円
	収支	7,464,343円

マスターズ練習会

場所 国立代々木競技場室内水泳場 〒150-0041 東京都渋谷区神南 2-1-1

50m 1～2 レーン

日時 11月21日(日) 16:00～17:30 12月12日(日) 16:00～17:30
12月26日(日) 15:00～16:30 R4年1月9日(日) 16:00～17:30
1月23日(日) 16:00～17:30 2月6日(日) 15:00～16:30
2月20日(日) 15:00～16:30 3月6日(日) 16:00～17:30
3月13日(日) 15:00～16:30 3月27日(日) 16:00～17:30
4月3日(日) 16:00～17:30 4月17日(日) 16:00～17:30
4月24日(日) 16:00～17:30 5月8日(日) 16:00～17:30
5月15日(日) 16:00～17:30 5月29日(日) 16:00～17:30
6月5日(日) 16:00～17:30 6月19日(日) 16:00～17:30
7月3日(日) 16:30～18:00 7月10日(日) 16:00～17:30
7月24日(日) 16:00～17:30 8月7日(日) 16:30～18:00
8月21日(日) 16:00～17:30 9月4日(日) 16:30～18:00
9月18日(日) 16:00～17:30

参加人数 各日7名～12名が参加していた

練習内容 近代泳法4種目の練習と200m個人メドレー完泳を目指し、各種目のターン練習及び種目変換のターン練習を行った。基礎技術の一つであるスカーリングを多く練習した。-

結果 最終日に参加した人については、50m×4回で4種目泳いだ後に200m個人メドレーを泳ぎましたが、みんな完泳しました。

収支 収入 講習料 500,720円
支出 講習会費(施設利用料) 252,000円 講師料 105,000円
講習会費(練習用フィン) 9,572円
福利厚生(指導員用スイミングゴーグル) 3,835円
計 370,407円
収支 130,313円

成人水泳代々木練習会

場所 国立代々木競技場室内水泳場 〒150-0041 東京都渋谷区神南 2-1-1

日時 火曜日 11:30～13:00

R3年 11月23日 11月30日 12月7日 12月21日

R4年 1月18日 2月1日 2月15日 3月15日 3月29日

4月5日 4月19日 5月3日 5月17日 5月31日

6月7日 6月21日 7月5日 7月19日 8月2日
8月16日 8月30日 9月6日 9月20日

参加人数 各日 11名～16名

練習内容 近代 4 泳法を正確に泳げるようにする。水中でのスタートの仕方、ターンニング、スカーリング等の基本テクニックと、肩甲骨周りの筋肉の動かし方等を指導

収支 収入 講習料 596,860 円

支出 講習会費(施設使用料) 299,250 円 講師料 95,000 円

講習会費(パワーブリーズ呼吸筋トレーニング) 9,900 円

計 404,150 円

収支 192,710 円

日曜日選手競泳練習

場所 国立代々木競技場室内水泳場 〒150-0041 東京都渋谷区神南 2-1-1

日時 日曜日

4月3日 10:00～12:00 4月24日 11:30～13:30

5月8日 11:30～13:30 5月22日 11:30～13:30

5月29日 11:30～13:30 6月12日 11:30～13:30

6月19日 11:30～13:30 7月3日 11:30～13:30

7月10日 11:30～13:30 7月17日 11:30～13:30

7月24日 11:30～13:30 8月7日 11:30～13:30

8月21日 10:00～12:00 8月28日 11:30～13:30

参加人数 各日 2名～8名

練習内容 スプリントトレーニングを中心として、選手各自の得意種目の技術向上を図る。

収支 収入 講習料 241,400 円

支出 講習会費(施設使用料) 151,200 円 講師料 80,000 円

講習会費(トレーニング機材) 46,130 円

計 277,330 円

収支 -35,930 円

ゴールデンウイーク障害者水泳練習

場所 国立代々木競技場室内プール

日時 5月3日、4日、5日

参加人数 合計 10名

練習内容 ゴールデンウイークを利用してプールを十分確保し知的身体を問わず、水泳に興味のある人たちに対して水泳練習を行った。参加者は少なかったが良い環境のもと十分練習ができた。

収支 収入 講習料 72,180 円
支出 講習会費(施設使用料) 75,600 円 講師料 15,000 円
計 90,600 円
収支 -18,420 円

身体障害者競泳練習

場所 横浜国際プール 神奈川県立スポーツセンター 国立代々木競技場室内水泳場
日時 10月4回 11月4回 12月4回 R4年1月4回 2月4回
3月4回 4月4回 5月3回 6月4回 7月4回
8月2回 9月3回

参加人数 各日1名

練習内容 スプリントトレーニングを中心として練習、横浜国際プール使用時は飛び込み練習を必ず入れる。

片麻痺があるのでバタフライの左右水平に特に注意を向けた。麻痺している側の動きにも注意を傾け、競技の成績向上のみでなく、日常生活の動きにも関連付けた練習をした。

収支 収入 講習料 242,000 円
支出 講習会費(施設使用料) 12,600 円 講師料 190,000 円
交通費 1,500 円
計 204,100 円
収支 37,900 円

知的障害者競泳練習

場所 横浜国際プール 国立代々木競技場室内水泳場
日時 R3年10月3回 11月5回 12月4回 R4年1月4回 2月4回
3月5回 4月4回 5月3回 6月5回 7月4回 8月4回
9月4回

参加人数 各日2名～3名

練習内容 耐乳酸トレーニング、スプリントトレーニングを中心として練習を組み立てている。単純なトレーニングメニューだけでなく、複雑な組み合わせを入れていく。参加者は国体やマスターズ大会にも出場する軽度な知的障がいの人たちで、水泳が上達したいという本人の意識も強いものがある

収支 収入 講習料 269,500 円
支出 講師料 205,000 円
収支 64,500 円

スタート練習会

場所 横浜国際プール

日時 8月17日

参加人数 14名

練習内容 横浜国際プール(サブプール水深 2.5m)において飛び込みから浮き上がりまでのスタート局面のみの練習会を行った。飛ぶこと、正しい入水角度の習得を主な目的に2レーンを使い数多く飛び込み練習を行った。

収支 収入 講習料 28,160円

支出 講習会費(施設使用料) 3,600円 講師料 5,000円 交通費 400円

諸会費(横浜市施設利用登録) 600円

計 9,600円

収支 18,560円

プライベートレッスン練習

場所 横浜国際プール

日時 R3年10月2回 11月3回 12月3回 R4年1月1回 2月1回
3月2回 4月2回 5月2回 6月2回 7月2回 8月3回
9月2回

参加人数 各日1名

参加費 1回6,600円

練習内容 今年度のプライベートレッスンは小学生1名と成人1名をレッスンしました。小学生は平均月2回競泳4種目の練習です。成人は脳血管障害のリハビリに水中運動を行いました。

収支 収入 講習料 161,700円

支出 講師料 102,500円 福利厚生(指導員水着)3,168円

交通費 800円

計 106,468円

収支 55,232円

指導者養成事業

行いませんでした。

その他の事業は行いませんでした